

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名	放課後等デイサービスボコアボコ福岡南				公表日	2026年 2月 5日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	1	・全体を見渡せる位置に立ちながら子どもと関わっている	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	2	・必要に応じて個別の対応等行えるように配置している	・送迎時の準備の際などに見守りが手薄になることがあるため、お互いに声をかけ合う、様子を見て交代で準備する等の配慮を行う
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障がいの特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8		・学習室とプレイルームを扉で隔てている ・マットを置いて音を吸収し怪我等の防止にも役に立っている ・子どもたちが1日の流れを確認出来るようにモニターにスケジュールを出している	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8		・子どもたちが帰った後清掃を行い、清掃を保てるようにしている	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8		・必要に応じてスタッフルームや玄関などで気持ちの切り替えができるようにしている	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8		・朝礼などで改善や職員間での共有に取り組んでいる ・次回につなげられるよう工夫している	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		・職員全員で評価を確認する時間を設けている	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		・大切な共有事項などは非常勤職員にも漏れなく共有している ・以前の事業所内自己評価で出た意見などを改善に繋げることが出来ている ・朝礼で改善案が出た際に次に活かしている	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	5		・今後検討が必要だと思う
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8		・研修の機会が多く、自分の日々の支援を振り返るきっかけとなっている ・強度行動障害支援者養成研修を受講している ・法人内では月に1回程度研修を継続して行っている	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8		・ホームページ、SNSで公表いつでも確認できるようにしている	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8		・アセスメントを実施、それを元に計画書を作成している	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8		・計画書を作成した後、職員全員で確認し、指摘された場所や改善案が合った時はその都度修正している	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8		・完成した計画書を職員全員で確認し、統一した支援を行えるようにしている	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8		・児童に合わせてさまざまなアセスメントツールを使用している	

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8			・以前行った活動の内容と被らない内容で行っている
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8			・子ども発達段階や様子を見ながら、作っている
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8			・活動やSSTを行う前、補助が必要な児童には職員を配置するなどの打ち合わせを行っている
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8			・その日に振り返ることは難しいため朝礼で振り返りとその日の打ち合わせを行っている ・緊急時は当日中に情報共有を行っている
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8			・各活動に対し正確な記録をとるよう統一している ・当日中に個々の児童の記録を記入、保護者に閲覧してもらっている
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8			・3ヶ月に1回モニタリングを行っている
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	8			・組み合わせがさっているとは思いますが、明文化されていない ・現状出来ていると思うが今後、支援を行う際、複数組み合わせながら行っていきたい
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8			・一方的な指示にならないよう、選択肢を出す等の工夫をしている	
関係機関や保護者との連携	26	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	1		・必要に応じて学校との面談を行ったり、医療機関に情報提供を行ったりしている ・相談支援事業所や教育などの関係機関は連携しているが、病院などはあまり連携していないと思う
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8			・毎週金曜日に時間割を撮影し、下校時間を把握している
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8			・児童の発達段階や様子に応じて必要な場合は園に情報共有をお願いしている
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	8			・利用している児童が別の事業所等に移行する場合、必ず支援方法や関わり方など共有する
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	3		・今後研修等を受ける機会や交流する機会を設けていきたい
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6	2		・以前、他の放デイの職員を招いた展示会を行ったが、また行ってみるのも良いと思う ・地域のイベント等への参加を検討したい ・他の放デイとの交流等も積極的に行っていきたい
33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	3			

	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	8		・帰りの送迎時、保護者に児童の様子を伝えて いる	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8		・ペアレントトレーニング、相談会を実施して いる	
保 護 者 へ の 説 明 等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8		・個別支援会議で伝え、保護者から要望があれば、それも個別支援計画書に追加している	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8		・帰りの送迎時やLINEで相談があった場合はその都度対応している ・保護者から面談の希望があれば行っている	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	8		・保護者交流会を開催している	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8		・苦情があった場合は再発防止案を伝えるようにしている ・職員間で共有を必ず行っている	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8		・活動やSSTなどを行っている様子を撮影、投稿している	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8		・個人情報が入力してある書類は必ず書庫にしまっている ・処分する場合は必ずシュレッダーにかけている	
	44	障がいのあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8		・児童や保護者にそういった配慮が必要な場合は行っている	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	3		
非 常 時 等 の 対 応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8		・そういったマニュアルは職員間で必ず共有し、実際に起こった時に出来るように訓練も行っている	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8		・年2回訓練を行っている	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8		・そういった対応が必要な児童がいた場合は必ず保護者から情報をもらい、職員間で共有し、全員が一貫した対応が出来るように行う	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	1		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8		・避難する場所など確認、避難場所に行くまで危険な場所の把握などを行っている	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8		・ヒヤリハットがあれば朝礼で共有している ・報告書を作成し、再発防止に努めている	
53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8		・入社時、また年に1～2回研修の機会を設けている ・毎月虐待防止および人権向上委員会に参加している		

	54 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8			
--	---	---	--	--	--